

1. 科目名（単位数）	幼児体育（2単位）	3. 科目番号	SJMP1142 SSOT2423 SCOT2423 SJMP1142 SJMP1142
2. 授業担当教員	飯田 昌男		
4. 授業形態	実技を中心に実施し、適宜講義やディスカッションを行う。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	保育内容（健康）（表現）、レクリエーション関係、健康・スポーツの履修を勧める。		
7. 講義概要	体力や運動能力の低下が報告されていることは周知の通りである。そこで、保育者として幼児や児童の発育発達に大きく関与する訳であるから、遊びや身体運動に関する基本的な知識を理解するとともに、学生自身の身体能力や運動技能を高めることが重要である。また、保育の中で取り上げる運動あそびに関する教材を作成したり、学生同士で声掛けなどを実践しながら具体的な指導法を学習する。運動あそびにおける安全管理、それらに必要な知識や技能を習得する。		
8. 学習目標	本講義を履修することによって以下の項目を達成することを目標とする。 1, 自分の体を自分でコントロールする能力を養い、運動技能を高める。（具体的には、走る・スキップ・ギャロップなどやマット・跳び箱・鉄棒などが、子どもたちの見本となる様にできること。） 2,子どもの運動あそび、リズム、身体表現の楽しさを味わい、指導・援助の方法の理解を深め、指導・援助ができる。（指導方法や声掛けなどを学ぶ。） 3,リズム体操、身体表現の教材がつくれる。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	課題1 実技試験[5種目（鉄棒・跳び箱・マット・竹馬・縄跳び）：子供たちの見本となるレベルです]。レポートは、上記の遊び方（ねらい・留意点など）について提出する。 課題2 使用した教具の特性を生かし、対象年齢にあったリズム体操を創作し、発表・レポートにまとめる。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】必要に応じて資料を配布する。 【参考書】河田 隆編『幼児体育教本』同文書院。 日本幼児体育学会編『幼児体育』大学教育出版。 山口智之著『幼児体育－応用編－』タイケン出版。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 その他授業の中で紹介していく。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 体力や運動レベルの差が大きいため、自己への挑戦・前向きな姿勢（出席状況含む）を評価基準とする。 2. 実技試験への取り組み姿勢と分かりやすい表現・明瞭かつ論理的なレポートを作成できたか。 3. 授業を振り返り、幼児体育への考え方や自己への課題を前向きに捉えることができたか。 ○評定の方法 1. 授業への積極的参加態度 50％（出席状況や意見発表を含む） 2. 実技試験・課題レポート 40％ 3. 振り返りのレポート 10％ なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。		
12. 受講生へのメッセージ	子どもの生活の中心は「あそび」であり、そのほとんどが「運動あそび」である。毎日元気いっぱい体を動かすことによって、心身の発達を向上させる大切な時期でもある。この大切なときの指導援助は、家族をはじめ幼稚園教諭や保育士である。この授業では、自らの健康の向上を図りながら運動あそび、リズム、身体表現を楽しみ、次第に指導援助する視点に向かい、補助の仕方・声かけを学んでほしい。学習ノートを自ら作成し、授業内容・留意点や気づいた点などを記録し、自分流声掛けを研究してほしい。きっと現場で役に立つと思います。 授業においては以下のような基本的ルールを守ってください。 1. 授業中の活発な意見、質問等を期待します。 2. 欠席は学則に則り3回までとします。出席を取っている間の入室は出席とし、それ以降の入室は欠席とします。ただし、授業は受けられます。理由は準備運動をすることと時間を守ることはとても重要であると考えているからです。また、無断で早退した場合は欠席とします。 3. 実技中心の授業なので運動にふさわしい服装、髪型をしてきてください。ふさわしくない服装、髪型の場合は授業参加をお断りする場合があります。 4. 実技が出来なくてもあきらめないでください。努力と工夫を忘れずに前向きに考えましょう。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション（授業の約束、内容等の説明）、 幼児体育の目標とねらい ＊資料配布	事前学習	幼稚園や保育所での運動遊びについて調べておく。 どのような保育者になりたいかまとめておく。
		事後学習	本時の内容を学習ノートにまとめる。
第2回	集団あそび（ジャンケンゲーム、その他）の指導と声掛けを学習する ＊資料配布	事前学習	ジャンケンゲームを調べてくる。
		事後学習	現場で使えるように自分流の言葉（声掛け）と本時の内容を学習ノートにまとめる。
第3回	集団あそび（伝承あそび、竹馬）の指導と声掛けを学習する ＊資料配布、実技評価	事前学習	伝承遊びについて調べてくる。
		事後学習	現場で使えるように自分流の言葉（声掛け）と本時の内容を学習ノートにまとめる。

第4回	器械運動あそび（マット）の指導・補助と声掛けを学習する ＊資料配布、実技評価	事前学習	マット遊びについて調べてくる。
		事後学習	現場で使えるように自分流の言葉（声掛け）と本時の内容を学習ノートにまとめる。
第5回	器械運動あそび（跳び箱）の指導・補助と声掛けを学習する ＊資料配布、実技評価	事前学習	跳び箱遊びについて調べてくる。
		事後学習	現場で使えるように自分流の言葉（声掛け）と本時の内容を学習ノートにまとめる。
第6回	器械運動あそび（鉄棒）の指導・補助と声掛けを学習する ＊資料配布、実技評価	事前学習	鉄棒遊びについて調べてくる。
		事後学習	現場で使えるように自分流の言葉（声掛け）と本時の内容を学習ノートにまとめる。
第7回	リズム体操（ジャズ体操、その他） ＊資料配布	事前学習	子ども向け TV 番組（特にリズム体操）などを観てくる。
		事後学習	体操の振付を学習ノートにまとめる。
第8回	リズム体操（パラバルーン、その他）	事前学習	子ども向け TV 番組（特にリズム体操）などを観てくる。
		事後学習	体操の振付を学習ノートにまとめる。
第9回	創作リズム体操 （グループ練習、ディスカッション）	事前学習	グループの発表曲の候補を挙げておく。
		事後学習	グループにて練習。
第10回	創作リズム体操 （グループ練習、ディスカッション）	事前学習	グループにて練習。
		事後学習	グループにて練習。
第11回	創作リズム体操 （発表会のリハーサル、グループ練習、ディスカッション）	事前学習	グループにて練習。
		事後学習	グループにて練習。
第12回	創作リズム体操発表会 レポート提出	事前学習	グループにて練習。
		事後学習	自分たちの発表や他のグループの発表の振り返りを学習ノートにまとめる。
第13回	縄跳び（短縄）の指導と声掛けを学習する ＊資料配布、実技評価	事前学習	縄跳びの練習をしておく。
		事後学習	現場で使えるように自分流の言葉（声掛け）と本時の内容を学習ノートにまとめる。
第14回	縄跳び（長縄）の指導と声掛けを学習する 実技評価	事前学習	縄跳びの練習をしておく。
		事後学習	現場で使えるように自分流の言葉（声掛け）と本時の内容を学習ノートにまとめる。
第15回	縄跳び（いろいろな跳び方）の指導と声掛けを学習する 実技評価 まとめと今後の課題	事前学習	縄跳びの練習をしておく。
		事後学習	現場で使えるように自分流の言葉（声掛け）と本時の内容を学習ノートにまとめる。